本社・事業本部・支社所在地および電話番号表

大阪事業本部	〒550-0023	大阪市西区千代崎３丁目南２－37	☎大阪 06(586)1122
南部事業本部	〒590-0973	堺市住吉橋町２－２－19	☎堺 0722(38)1131
和歌山支社	〒640-8033	和歌山市本町１－５	☎和歌山 0734(31)2481
北東部事業本部	〒578-0925	東大阪市稲葉２－３－17	☎河内 0729(62)1131
北部事業所	〒569-0025	高槻市藤の里町39－６	☎高槻 0726(71)0361
奈良支社	〒631-0036	奈良市学園北２－４－１	☎奈良 0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町１－８－２	☎神戸 078(360)3100
姫路支社	〒670-0836	姫路市神屋町４－８	☎姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668-0047	豊岡市三坂町６－57	☎豊岡 0796(23)2221
京滋事業本部	〒660-8815	京都市下京区中堂寺粟田町１	☎京都 075(311)7381
滋賀支社	〒525-0037	草津市西大路町５－34	☎草津 0775(62)5311
滋賀東支社	〒522-0074	彦根市大東町12－11	☎彦根 0749(22)3131
長浜営業センター	〒526-0058	長浜市南呉服町３－４	☎長浜 0749(62)7171
本社	〒541-0046	大阪市中央区平野町４－１－２	☎大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

98.08.2.000①

ガステーブルコンロ 10－315型

KC－32

取扱説明書

もくじ

●安全上のご注意……1
●特長・各部のなまえ……2
●特に注意していただきたいこと……3～6
●寸法図・仕様……7
●器具の設置……8～9
●器具の使い方……10～11
●点検・お手入れ……12
●故障かな？と思ったら……13
●保管とアフターサービス……14

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

大阪ガス

安全上のご注意

ご使用まえに、この「安全上のご注意」を
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書及び製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容なので、必ず守ってください。
その表示と意味は次のようになっています。

危害・損害の程度とその表示

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を示しています。

絵表示の例

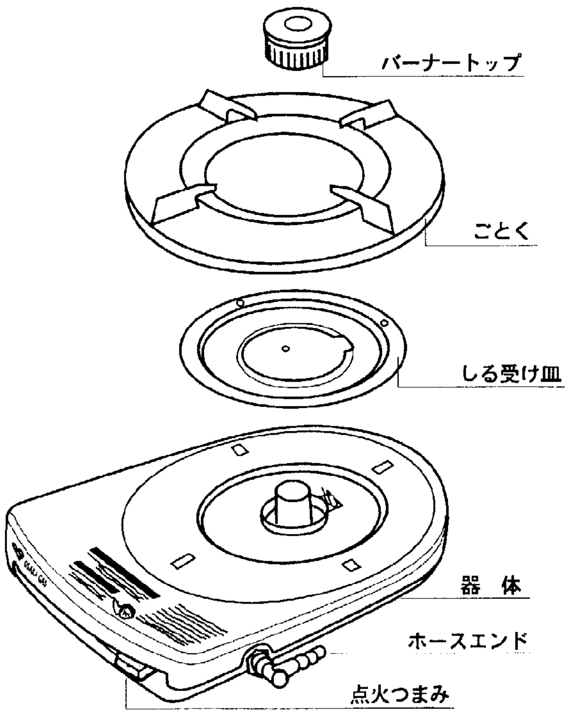
⚠記号は、注意（危険・警告も含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は火災注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

❗記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の近くに具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

☆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに**必ず保管**してください。
☆取扱説明書あるいは機器本体の表示（安全表示、取扱上の注意）を紛失、または汚れなどで読めなくなった場合、お買上げの販売店でお求め（有料）ください。

特長・各部のなまえ



● 特 長

1 バーナーは高効率で、火力の強い強力ハイカロリーバーナー

2 高さを押さえたうす形設計

3 設置場所をとらないコンパクト設計

安全に、正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください

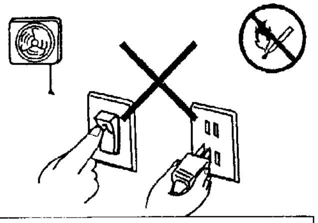
特に注意していただきたいこと

⚠危険

●ガスもれ時の処置

- ガスもれに気づいたときは、①~③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、換気扇その他の電気器具のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差し、及び周辺の電話の使用をしないでください。

① すぐに使用をやめ、器具栓とガス栓を閉じる。
② 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③ お買上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。



> **⚠ 注意**
> 火や火花から引火し、爆発事故を起こすことがあります。

⚠警告

●使用ガスについてのご注意

- 必ず本体の側面にはってある銘板(ラベル)に表示されたガスの種類と、お宅のガスが一致しているかを確認してください。一致していないと爆発着火によりやけどをしたり、不完全燃焼がおこり、一酸化炭素中毒になったりすることがあります。また故障の原因にもなります。
- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、供給ガスの種類と器具に表示されたガスの種類が一致しているかを必ず確かめてください。
  わからない場合は、お買上の販売店または大阪ガスにご相談ください。

(例)　銘板(13Aの場合)

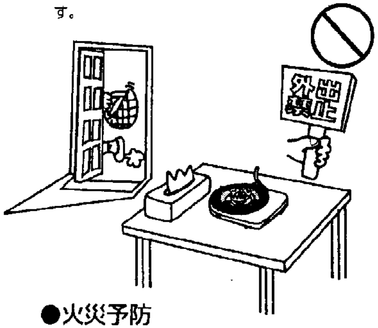
KC－31
都市ガス用　13A
4.07KW　3500Kcal/h
00・00－000000
関西興業株式会社

→ [　　　] の部分を確認して下さい。

⚠警告

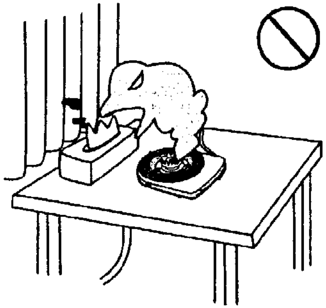
●火をつけたまま離れない

- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
  調理中のものが過熱され、火災の原因になります。



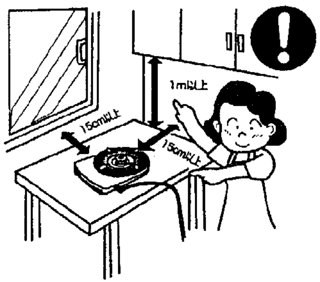
●火災予防

- 器具の周囲に燃えやすいもの(紙、カーテン)や引火性のスプレー缶などを絶対に置かないでください。焦げたり、燃えたり、爆発のおそれがあります。
- スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを、近くで使用しないでください。



●使用場所について

- 強い風の吹き込むところでは、使用しないでください。　炎が風で吹き消えることがあります。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところ、および可燃物から十分な距離をとれないところでの設置は、お避けください。
- 器具外枠から側面へ15cm以上・上面へ1m以上の距離を確保できる場所に設置してください。
- 機器を設置した後、機器の周囲の改装(吊り戸棚をつけるなど)はしないでください。



●異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具栓、ガス栓を閉止)して十分な点検をお願いします。(故障・異常の見分け方と処置方法については13ページをお読みください。)
- 地震、火災など緊急の場合はあわてずに使用を中止してください。

●使用中の持ち運び禁止

- 火のついたまま持ち運ばないでください。転倒すると火災、やけどの原因となります。

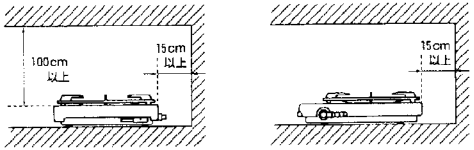
安全に、正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください

特に注意していただきたいこと

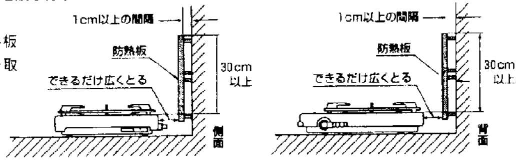
⚠注意

●設置場所及び周囲の危険物、防火措置について

- **周囲に可燃物（木製の壁・たななど）のある場合**
  器具の側面及び背面は木製のような可燃性の壁から側方は15cm以上、後方は15cm以上離してお使いください。また可燃性の壁にステンレス板などを貼り付けてご使用になる場合でも同様です。不燃性の場合はその限りではありません。また器具と上方の天井・つり棚など可燃性の部分との間は100cm以上離してください。

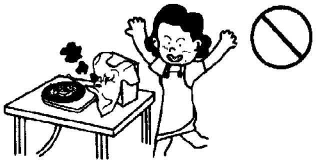


- **可燃性の壁物（ステンレス板等を貼り付けた可燃性の壁も含む）から側方は15cm以上、後方は15cm以上離して設置できない場合**
  ・図のように必ず別売りの防熱板（コードNo.15-100-0084～6）を取り付けて使用してください。



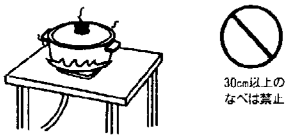
●用途について

- 調理以外の用途には、使用しないでください。
  過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。



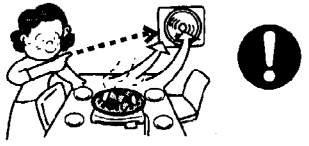
●なべをお使いになるときは、30cm以下のものをご使用ください

- 過大なべや鉄板ご使用になりますと、なべ底からあふれた炎でテーブル面が変色、または焼けたりして**火災の原因となります。**また、皿などをなべに近づけますと熱により変形をする場合がありますので、ご注意ください。
- 中心から排気を出す、しゃぶしゃぶ等で使用する鍋は鍋を局部的に加熱しますので使用しないでください。



●換気について

- **ご使用中は窓を開けたり換気扇を回すなど、必ず換気してください。**
  換気が不充分な場合、不完全燃焼による**一酸化炭素中毒の危険があります。**

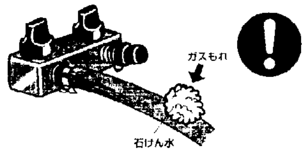


⚠注意

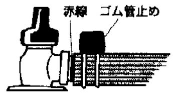
●ガスもれ予防

- **ガス用ゴム管を使用する。**
  ゴム管はガス用ゴム管（検査合格品またはJISマーク入りのもの）を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。ガスがもれ、爆発の原因になります。

- **古いゴム管は使用しない。**
  ゴム管が古くなりますと、ガス栓や器具のゴム管口から抜けやすくなったり、ヒビ割れして**ガスもれの原因になり、危険です。**



- **ゴム管は赤線まで差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めてください。**ゴム管が抜けたり、抜けかけたりするとガス爆発の原因になります。



●やけどに注意

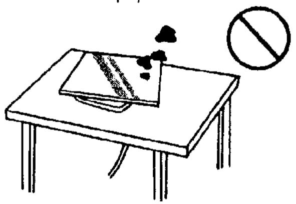
- **ご使用中および使用直後は、器具とその周辺は熱くなりますので、手を触れたり移動させたりしないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではやけどにご注意ください。**

●習慣づける

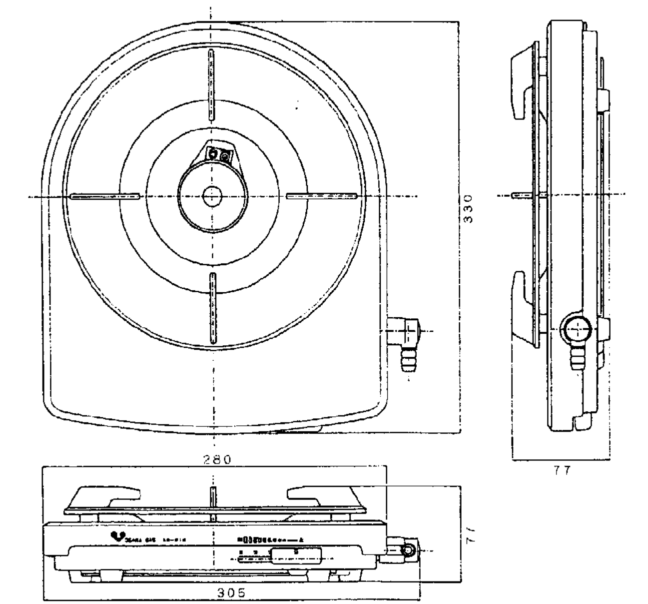
- **使用中にはときどき正常に燃焼していることを確かめてください。**
- **使用後は必ずガス栓を閉じ、消火したことを確かめてください。**
  ガスもれを防止するためです。

●専用部品以外の使用禁止

- **専用の部品以外は、使用しないでください。**
  排気口をおおうような使用方法は、不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に加熱して**一酸化炭素中毒や火災の原因になり、危険です。**



寸法図・仕様



●仕様一覧表

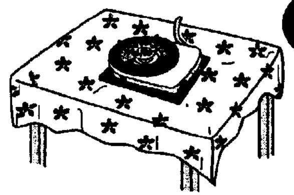
品　　名	ガステーブルコンロ	
品　　番	10－315型	
型　式　名	KC－32	
ガス種・ガスグループ	都市ガス用13A	
1時間あたりのガス消費量	4.07KW (3500kcal／h)	
点　火　方　式	連続スパーク点火	
外　形　寸　法	高さ77㎜×幅305㎜×奥行330㎜	
重　　量	3.0kg	
ガ　ス　接　続	内径φ9.5㎜ガス用ゴム管	
付　属　品	取扱説明書・保証書・乾電池(単2乾電池(1.5V)1ケ)	

器具の設置

はじめてお使いのとき

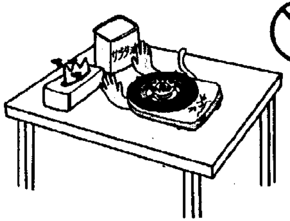
- 各部分のあて紙や包装部分を取り除き、正しくセットしてください。
- 器具銘板のガス表示（ガスグループ）とご使用になるガスが一致しているかご確認ください。

●設置上のご注意



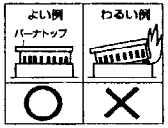
- 丈夫で水平なテーブルなどの上でご使用ください。
- 風の流れがあるところでのご使用は、焼きむらの発生が生じますので器具の設置場所にご注意ください。
- 塗装・漆など熱に弱い食卓テーブルやビニールクロスの上でご使用のときは、変色することがありますので不燃性の板等を敷いてお使いください。

●器具周囲の確認

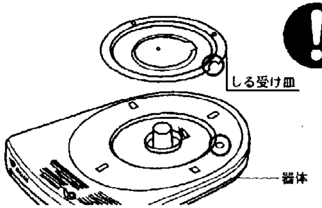


- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置かれていないことを確認してください。

●部品の取り付け



- バーナートップはバーナー本体の凹部に、バーナートップの凸部をはめこみ、浮き上がったり、傾いたりしないように取付けてください。きちんとはまっていないとバーナーの炎が不揃いになり、逆火してバーナーを傷めますのでご注意ください。

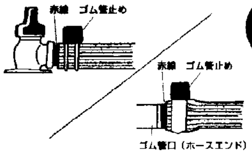


- しる受け皿を取付けるときは、天板の凸部としる受け皿のカット部を合わせてください。

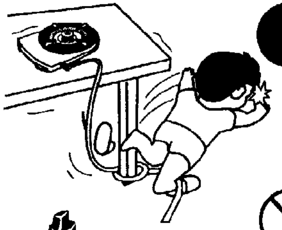
器具の設置

●ゴム管の接続

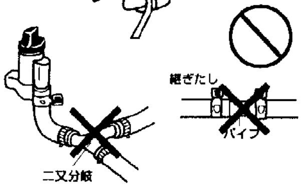
- ゴム管は赤線まで差し込んで、しっかりと止めてください。
  内径ø9.5mmのガス用ゴム管を使用し、お部屋の元栓、器具のホースエンドともゴム管口の赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めてしっかり止めてください。



- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折ったり、ねじったりしないようにできるだけ短くし、また、器具の下を通したり、器具に触れたりしないようにしてご使用ください。
  ゴム管を長くしますと足に引っかけたりして、たいへん危険です。

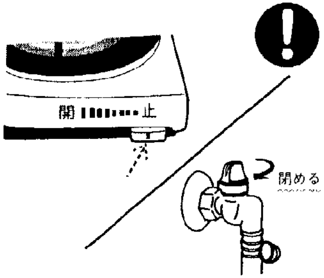


- ゴム管はJISマーク入り、または検査合格品を用い、時々とりかえてください。
  不良なゴム管を使用しますとガスもれの原因になることがあります。
- ゴム管の継ぎたしや二又分岐はガスもれの原因となり危険ですから行わないでください。

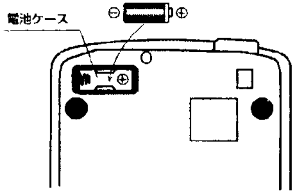


●点火前の準備と確認

- 点火つまみを「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元栓を全開にしてください。



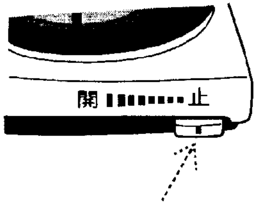
- 電池は電池ケース（器具下部の手前にあります）にはめこんでください。電池は単2（1.5V）1個使用です。
- パチパチという音の間隔が長くなった時や着火がしにくくなったら電池が消耗していますので、新しいものとおとりかえください。



器具の使い方

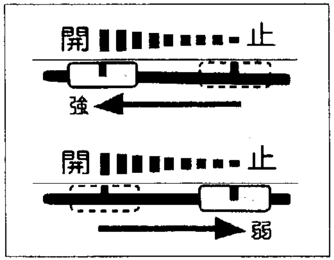
●点火・消火

- 点火つまみを「止」から「開」に "パチパチ" と音のするまでゆっくり操作し、バーナーに着火したことを確認してから手をはなしてください。
- はじめて点火するときは、配管中（ゴム管内）に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は空気が抜けるまで数回、点火操作を繰り返してください。
- 点火の際は、バーナー全部の "炎口" に点火したことを確かめてください。
- 点火つまみを「止」の方へ止まるまで操作しますと、消火します。
- 消火する時にポンという音がすることがありますが異常ではありません。



●火力調節

- 炎を見ながら点火調節つまみを、器具本体の「▮▮‐ 印」に「開」～「止」の間でゆっくりスライドして、火力調節してください。微妙な火力の調節が容易にできます。
  （「弱」は「強」の約¼くらいの火力です。）



《ご注意》
- 点火つまみはゆっくり操作してください。あまり早く操作すると消火することがあります。
- 弱火でご使用のときは、風などによる吹き消えに十分注意し、ときどき燃焼していることを確認してください。
- 火力調節の表示は目やすとしてお使いください。

●過熱防止装置

- 万一、器具が異常過熱した場合は、過熱防止装置が働きガスを停止します。
  過熱防止装置が正常温度にもどれば再度点火できます。

器具の使い方

●立消え安全装置

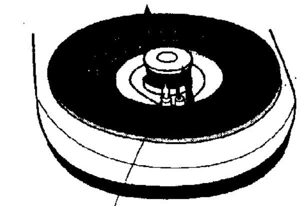
- 立消え安全装置は、煮こぼれや風などで火が消えたときにガスを自動的に止める装置です。

立消え安全装置が作動したときの処置方法

- ご使用中にバーナーが消火したときは、すぐに点火つまみを「止」の位置にもどし、お部屋のガス栓も「止」の位置にもどし、消火した原因を調べて13ページの「異常時の処置」、および次の方法により処置してください。

処置したあとは

- バーナーの火が消えたときは、立消え安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまでに少し時間がかかります。(30秒～1分間程度) バーナーの消火に気づいたときは、すぐに点火つまみを「止」の状態にしてください。
- 再点火される場合は、周囲にガスがなくなるまでしばらく(数分)待ってから「使用手順」に従って点火してください。



●過熱防止装置

- 器具内部の温度が上がりすぎると過熱防止装置が働いて自動的にガスが止まります。器具内部の温度が下がると再点火できます。(少しおまち下さい。)

●習慣づける

- 使用中にはときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 使用後は必ずガス栓を閉じ、消火したことを確かめてください。
ガスもれを防止するためです。

●使用直後

⚠ 使用中、消火直後は器具の温度が高く、やけどのおそれがありますので、手を触れたり、移動させたりしないでください。

安全にご使用いただくための

点検・お手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ずおこなってください。
- 点検・手入れの際は、必ずガス栓を閉じ、器具が冷えてからおこなってください。
- 点検で異常を見つけられたとき、また万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。

そ の つ ど

●器　体・ごとく・しる受け

＊油などの汚れは、湿った布でふきとってください。なお、とれにくいときは、中性洗剤をやわらかい布や、スポンジたわしにふくませて汚れを落としてください。

＊お手入れのとき、器体内部機構に水がかからないようにご注意ください。

〔ご注意〕

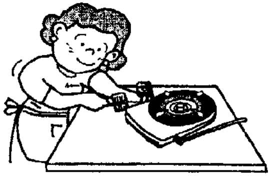
- ・ごとくは重いので取扱いに注意してください。
- ・バーナの水洗いはさけること。
- ・火花の出る部分はさわらないこと。
取付位置が狂うと点火しないことがある。
- ・バーナトップを再び取り付ける場合はギザギザが下になるようにセットし、2～3回バーナトップをまわして確実にセットしているか確認すること。

と き ど き

●バーナー

＊バーナーは水洗いをしないで硬いブラシで汚れを落としてから細い針金またはキリなどで、炎口の掃除をしてください。バーナーを目詰まりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。

＊バーナー本体の水洗いはやめてください。
中がさびる原因になります。



お 手 入 れ 後

- ●中性洗剤を用いて洗った後は、よく水洗いしてください。
- ●乾いたやわらかい布で、水気や洗剤分をよくふき取ってください。
- ●部品が正しくセットされているか確認してください。

いずれの場合もお手入れ後は、乾いた布で十分に水気をふきとってください。

故障かな？と思ったら

●異常時の処置

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具栓、ガス栓閉止）して十分な点検をお願いします。

現象 / 原因	点火つまみから手を離すと消火する	点火しない点火しにくい	着火（火移り）しにくい	炎が安定しない	黄炎で燃える	消火しない	異常な音をたてて燃える	ガスのにおいがする	使用中に消火した	点火つまみの操作が重い	処置方法	参照ページ
ガス栓の開け忘れ		○									ガス栓を開ける	9
ゴム管が折れている		○							○		ゴム管の折れをなおす	9
ゴム管内に空気が残っている		○	○	○					○		点火操作を繰り返す	9
点火つまみの開き不十分		○	○								点火つまみを全開にする	9
ノズルの詰まり		○	○		○				○		点検・修理を依頼する	14
空気吸引部にほこりが詰まっている					○						点検・修理を依頼する	14
バーナーの腐食・炎口の詰まり		○	○	○	○		○				バーナー・炎口を掃除する	14
器具栓の故障	○	○	○			○				○	点検・修理を依頼する	14
ゴム管のひび割れ・穴あき								○			ゴム管を交換する	9
ゴム管の接続不足								○			ゴム管の接続を確実にする	9
ガス栓の損傷								○			点検・修理を依頼する	14
炎口に水がかかっている		○	○	○							水分をふきとる	12
ガスがノズル部分で燃えている					○		○				一度ガスを止め、再点火する	11
立消え安全装置が作動	○								○		立消え安全装置が作動したときの処置方法	11
過熱防止装置が作動									○		過熱防止装置が作動したときの処置方法	10・11
立消え安全装置の故障	○								○		点検・修理を依頼する	14
点火プラグ割れリード線外れ		○									点検・修理を依頼する	14

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときやおわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

保管とアフターサービス

●長期間使用しない場合

各部の汚れを取り除いて十分に乾燥した後、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンドなど）にほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- サービス（点検・修理）を依頼される前に
  「故障かな？と思ったら」（13ページ）の項を見て、もう一度ご確認ください。
  それでも不具合な場合またはご不明の点は場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
  1. 品　名………………ガステーブルコンロ
  2. 品　番………………右側面に貼付してあります。 → (N) 10-315 大阪ガス株式会社
  3. 故障、異常の現象…………できるだけ詳しく
  4. お客様名、住所、電話番号
  5. 道順

転居または器具を移設されるとき

- ガスの種類には都市ガス、およびLPガスがあります。
  ガスの種類が異なる地域へ転居または器具を移設される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。なおこの場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

- 保証期間中は…
  保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について…
  お買い求めの販売店にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
  この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後6年間です。